



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukayadai>

令和6年4月30日

5月号

横浜市立横浜深谷台小学校

校長 角井 治朗

懐かしき思い出のこの地に着任して

副校長 竹端 岳

4月より横浜深谷台小学校へ着任した、竹端(たけはた)と申します。

今から40年ほど前、わたしの祖父母は戸塚区影取町に住まいを置いていました。兄とわたしの小学生2人で、自宅のある静岡・三島から東海道本線に乗り、藤沢駅で下車、さいか屋の1階から「戸塚バスセンター」行、または「ドリームランド」行に乗って「鉄砲宿」で降りるのがいつもの行程でした。「ドリームランド」行、このバスにずっと乗っていたら、どんな場所が待っているのだろうか、子どもながらに夢見ていました。

ついにその夢が実現し、ドリームランドを訪れる日がやってきました。しかし、あの日の思い出はただ一つ。園内一のジェットコースターに乗りたいと懇願し、遊具券を購入してもらったにもかかわらず、動き出したコースターのスピードと乗客の絶叫に、次第に恐怖感が増し、並んでいた列をそっと離れて、祖父に遊具券を払い戻してもらったことでした。今、思い出しても、もうすでにこの世にはいない祖父母に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

あれから40年、頻繁にバスが行き交うこの街に降りてみると、やわらかい風がほほをつたい、子どもたちや学生の明るい声が聞こえてきます。地域のカフェの前を通ると「食事していきませんか」と温かい言葉をかけられました。

着任後に学校の外を歩いていると、早速、車の中から「ふくこうちようせんせーい」と子どもに呼びかけられ、あいさつを兼ねて学校だよりを配りにコミュニティスペースを訪れると「あら、新しい副校長さん?」と笑顔で応対していただきました。

この春は、桜が4月中旬まで街を彩ってくれました。車の絶えない4号線の傍らで、谷戸川を見下ろすと、カルガモのつがいが気もちよさげに泳いでいます。

この街には、夢を実現した人も、夢を描いている人も、夢を未来に託す人も、一堂に会しています。懐かしき思い出のあるこの地で、地域の皆様とともに学校を創っていく所存です。

学校だより4月号にて、印刷の不鮮明な部分がありました。お詫び申し上げます。